

ユニリタマガジン

UNIRITA Magazine

vol.
69



特集

お客様と共に成長する ITサービスカンパニーへ

お客様の多様なニーズを
解決するユニリタグループの
ソリューションマップ

4年ぶりのリアル開催に熱気あふれる!
第39回 UNIRITAユーザシンポジウム
開催レポート

システム管理者の会の挑戦!
2023年度の活動計画

顧客、取引先、パートナー企業との
コミュニケーションに
CommuRing(コミュリング)を!

お客様と共に成長するITサービスカンパニーへ

ユニリタグループの取り組み

昨今、サステナビリティ(持続可能性)という言葉をよく耳にするようになりました。

企業活動においても、事業価値の提供を通じて社会的な共感を得られない企業に長期的な成長は見込めないと同時に、それが経済の法則の中に組み込まれていることも不可欠です。

私たちは、取り巻く社会とお客様の求める課題解決に正面から取り組むことで、社会的な価値を生み出し、それを経済的価値に転換することで、サステナビリティな経営が実現できると考えています。そして何よりも、お客様のビジネス革新や成功を支援するパートナーとなるため、お客様とのビジョンの共有や対話、共感を大切にしています。

この信条を背景に当社グループは、「共感をカタチにし、ユニークを創造するITサービスカンパニーへ」を中期経営計画の基本方針として掲げています。ユニリタらしさである「ユニーク」とは、お客様の潜在的な課題を顕在化し、解決するサービスを提供することであると考えます。

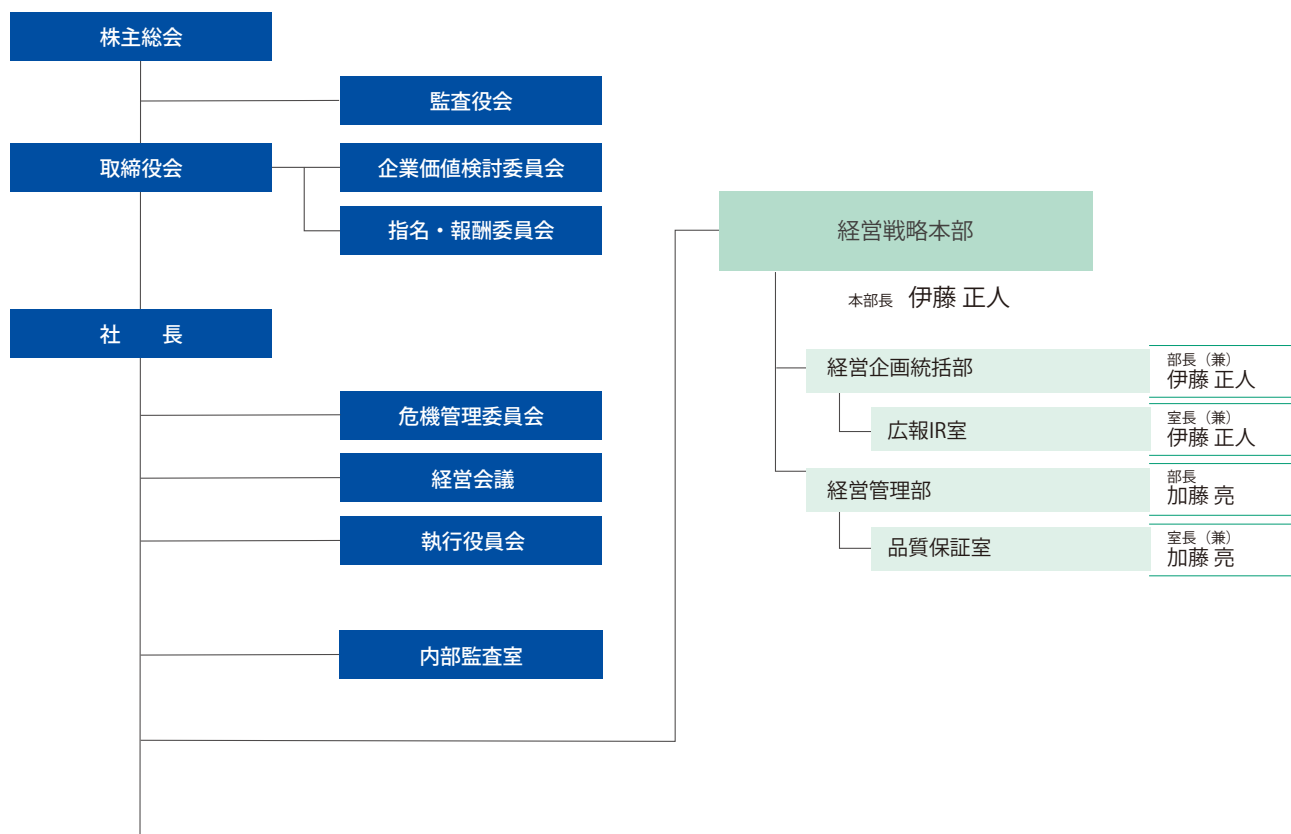
今年度のユニリタグループは、お客様の課題を解決し、ビジネスの成功をより確実なものにするため、コアコンピタンスである「データマネジメント」「サービスマネジメント」「プロセスマネジメント」の3つのマネジメント力と、これらを最大化する体制を敷いています。そして、IT部門が抱えるさまざまな「IT課題」、事業部門や経営企画部門が抱える「事業課題」、地方創生や一次産業活性化などに代表される「社会課題」の解決に向け、それぞれのお客様の立場になって考え、グループの総合力を活かした高付加価値なサービスを提案してまいります。



代表取締役 社長執行役員

北野 裕行

2023年度 ユニリタ組織図



2023年度 新組織のご紹介

ユニタグループでは、お客様のビジネスの成功を支援するために、「データマネジメント」「サービスマネジメント」「プロセスマネジメント」の3つのマネジメント力をコアコンピタンスとし、高付加価値なサービスを提供することを目指しています。そのため「プロダクトサービス」「クラウドサービス」「プロフェッショナルサービス」という3つの事業セグメントを設け、組織機能とグループ各社を組織化しています。3つの事業セグメントが専門性を発揮しながら、互いに連携することで高いシナジーを発揮し、多様化するお客様のビジネス課題の解決やニーズに対応した最適なサービスを提供しています。

「**プロダクトサービス事業本部**」は、メインフレーム、自動化、帳票などの製品群の強化とサポート、および漸進的イノベーションの推進と、ユニタクラウドサービスの事業を傘下に置き、自社製品群のクラウドサービス化や顧客システムのクラウド移行を支援します。

「**クラウドサービス事業本部**」は、クラウドサービスを3つのカテゴリー（IT活用、事業推進、ソーシャル）に分けることで、技術変革に俊敏に対応し、マーケットや顧客ニーズにあったサービスの迅速な提供を目指します。

「**プロフェッショナルサービス事業**」は、ユニタの組織ではなく、ユニタグループの会社で構成された事業セグメントです。データ総研、BSPソリューションズ、無限、ユニタエスアールの4社で構成されています。この事業は、専門性の高いコンサルティングやサービスインテグレーション、アウトソーシングサービスなど、付加価値の高いプロフェッショナルサービスを提供することを目的としています。

そして、営業機能を持つ「**セールスユニット**」は、それぞれの事業セグメントがもつ専門性を活かしながら横断的に連携し、機能別（営業、パートナー営業、カスタマーサクセス、マーケティング）組織運営により、マーケットや顧客ニーズを的確に捉え、お客様の「課題解決」と「価値創造」を実現する提案を行います。

さらに、バックオフィスとしての「**経営戦略本部**」と「**グループ業務本部**」は、事業セグメントを構成する部門が、効率的かつ円滑な業務を遂行できるように、グループ戦略策定や業務改善、標準化を推進し、ユニタグループ全体の業務の最適化を実現します。

これらの組織が一丸となり、DXの環境下、お客様にとって最適なソリューションの提供を通じ、お客様の成功体験の実現に向け、業務に取り組んでいます。

ユニタの組織図は以下の通りです。



プロフェッショナルサービス事業

データ総研



ビーエスピーソリューションズ



無限



ユニタエスアール



お客様の多様なニーズを解決する ユニタグループのソリューションマップ

ユニタは、プロダクトサービス事業本部、クラウドサービス事業本部、プロフェッショナルサービス事業の3つの事業セグメントによって構成されています。それぞれの事業セグメントは、専門的な知識と技術を持った部門に分かれ、お客様に最適なソリューションを提供するために開発した製品・サービスを持っています。お客様と密にコミュニケーションをとり、お客様のビジネスの課題や目

事業セグメント	部門	主な製品・サービス
プロダクトサービス 事業本部	メインフレーム部	A-AUTO (メインフレーム版)
		A-SPOOL
	ビジネスオートメーション部	A-AUTO (オープン版)
		bindit
	エンタープライズレポート部	まるっと帳票クラウドサービス BSP-RM、DURL、XRF、帳票DASH!
	サービスプラットフォーム部	ユニタクラウドサービス
クラウドサービス 事業本部	DXイノベーション部	Growwwing
		CommuRing
		Ranabase
		Serccs Board
		まるっとコミュニティクラウドサービス
	ITイノベーション部	Waha! Transformer
		まるっとデータ変換・加工クラウドサービス
		ちょこっとデータ変換/加工
	ITマネジメントイノベーション部	LMIS
		Digital Workforce
プロフェッショナルサービス 事業	株式会社データ総研	MDM (マスターデータマネジメント) ソリューション
		Blue Sheep
	株式会社ビーエスピーソリューションズ	デジタルサービスマネジメントシステム
		システムインテグレーション
	株式会社無限	らくらく通勤費
ユニタグループ	株式会社ユニタエスアール	StructureAtoZ
		情報システム業務可視化(分析)・改善支援サービス
	株式会社ヒューアップテクノロジー	DigiSheet
		The Staff-V
	株式会社ビーティス	PICLES
	株式会社ユニ・トランド	MANALYZE (乗降者数可視化・遅延可視化)
	株式会社ユニタプラス	サクッとプラス

標を理解したうえで、各部門が持つ最適な製品・サービスを提供し、さらにユニタグループのもつ専門的な知識や技術を組み合わせることで最適なソリューションを提供しています。ユニタグループの持つ強みを活かし、お客様の多様なニーズにこたえる提案を通じて、お客様のビジネスの成功を支援します。

詳細は下記のソリューションマップをご覧ください。

サービス概要

運用管理業務の自動化、安定化はもちろん、ジョブを柔軟かつ容易に実行するための多彩な機能を持ったジョブ管理ツールです。

帳票に関わる人的負荷を軽減し、ペーパーレス化や分散印刷などの幅広い帳票ソリューションとの自動化連携を容易に実現します。

運用管理業務の自動化、安定化はもちろん、ジョブを柔軟かつ容易に実行するための多彩な機能を持ったジョブ管理ツールです。

デジタル化によって増え続けるクラウドアプリケーション間のワークフローを、ノーコード・ノンプログラミングで自動化してくれるSaaS連携：iPaaSツールです。

帳票の電子化によるオンライン配信に加え、プリンターによる紙への印刷～封入封緘～配送業務まで、帳票の出力業務を「まるっと」お手伝いできるクラウドサービスです。

帳票の作成から管理、高速印刷まで、お客様のシステム環境やニーズに合わせた帳票業務の環境を構築します。

データセンターや、クラウド環境に対するフルマネージドサービスの提供など、お客様のクラウド環境の活用を支援します。

サブスクリプションビジネスのLTV最大化のためのカスタマーサクセス活動を支援するプラットフォームです。低コストで導入がスムーズであり、顧客データに基づいたPDCAを実現します。

オンラインストレージ、ビジネスチャット、動画配信、情報発信、アンケート取得などの機能により、顧客や取引先、パートナー企業とのコミュニケーションの最適化を実現するコラボレーションツールです。

業務改善コンサルティングのノウハウから生まれた、業務プロセスの可視化から改善、システム設計/開発まで一連の改善サイクルを提供するフローチャートツールです。

チームのコラボレーションを高めることでテレワーク時代の新しいチームワークを構築できるチームタスク管理ツールです。

チーム間から取引先間まで、幅広い規模の双方向コミュニティを実現するサービスです。

必要なデータを抽出、異なる形式のデータを変換・加工して整え、データベースやBI、DWHなどにスムーズに連携・統合するツールです。

データ変換・加工処理から運用保守業務までをクラウドインフラでアウトソーシングできるサービスです。

ExcelやCSVなどのデータ集計・加工から業務システムのデータ移行まで幅広い課題を解決する、データ関連業務支援のサブスクリプションサービスです。

ヘルプデスク機能を中心としたサービスマネジメントプラットフォームです。サービスマネジメントによる可視化、自動化、標準化を実現。ITIL準拠のテンプレートと、柔軟性と拡張性に優れたプラットフォームにより、最適なサービスマネジメントを提供します。

「ポータル」「シングルサインオン（SSO）」「ID管理」「API管理」「セキュアブラウザ」の5つの機能を組み合わせ、安全で快適なリモートワーク体制を提供するIDaaSです。

農業経営の利益を最大化するために必要な情報を提供する農業経営支援クラウドサービスです。

センサーから取得された大量のデータを、地図を用いたインターフェイスで分析することで、路線/バスの各路線、各系統、各停留所までさまざまな単位での乗降レポートを提供するサービスです。

難度の高いマスタ統合・コード統一を、さらに一歩進め、「早く・安く・うまく」実現できるよう支援するトータルサービスです。

商談の成約から機器の設置、アフターサポートによるバージョンアップやリプレースまで、End to Endで構成情報を一元管理し、顧客ごとに最適なセールス提案やアフターサービスを実現します。

デジタルサービスカンパニーへと変革するために必要な「エンドツーエンドでの顧客体験管理」「競争力を支えるサービスマネジメントの運営」「データに基づくカスタマーサクセス」を全て実現できるプラクティスです。

お客様のビジネスニーズに合わせたシステム開発を行い、スクラッチ開発や既存のパッケージ製品を利用して、効率的でコストを抑えた提案を行い、お客様の業務体系に合ったシステムを開発・構築します。

通勤費の出社日数に応じた日払実費精算も定期券管理も、自動車通勤、自転車通勤も簡単に管理できます。

低コストでメインフレームからのクラウドリフトが実現する「脱メインフレーム」企業向けサブスクリプションサービスです。

情報システム部門の業務内容を可視化し、部門からの意見や要望を取りまとめ、業務改善・コスト削減を実現する改善計画を提案します。

人材派遣業に特化した、勤怠業務効率化サービスです。

人材派遣ビジネスに必要な管理機能を一つのシステムで提供し、手作業によるミスの軽減などを実現する、業務効率化ツールです。

社内向けサイネージにより従業員間の情報共有の効率化とコミュニケーション向上を実現するクラウド型サイネージ配信システムです。

センサーから取得された大量のデータを、地図を用いたインターフェイスで分析することで、路線/バスの各路線、各系統、各停留所までさまざまな単位での乗降レポートを提供するサービスです。（ソーシャルインベーション部が開発を行い、ユニ・トラッドが事業を展開しています。）

予算管理・生産管理・各種データ収集方法など、現場部門での業務効率化に寄与する4つのサービスを展開しています。

解決する課題・テーマ

システム運用自動化

帳票出力の電子化・自動化

システム運用自動化

クラウドアプリケーション連携、iPaaS

帳票業務の電子化、アウトソーシング

帳票業務の最適化

クラウド基盤、システム運用の自動化

カスタマーサクセス

コミュニケーション基盤構築

業務プロセスの可視化、DX推進

チームタスク管理

情報共有、コミュニケーション

データ連携基盤

データ変換/加工、業務自動化

データ変換/加工、業務自動化

サービスデスク、ITIL準拠

認証基盤、セキュリティ強化

一次産業の活性化、農業 × IT

路線バス運行管理

データ管理基盤の構築

構成管理

DX実践支援

システム開発のコスト、工数の削減

通勤費管理の工数削減

ダウンサイジング、クラウド化

システム運用アウトソーシング

派遣勤怠管理

派遣業向け業務効率化

社内情報共有、モチベーションアップ

路線バス運行管理

業務効率化



2023年3月2日から3月4日にかけて、第39回UNIRITAユーザシンポジウムが、ヒルトン福岡シーホークコンベンションホールにて4年ぶりにリアルで開催されました。

今回はコロナ禍でも多くの方にご参加いただけるようリアル開催とオンライン配信を組み合わせた、初めてのハイブリッド開催となりました。福岡のイベント会場には97社295名、オンライン配信には75社260名の合計555名と、多くの方にご参加いただきました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



開催 1 日目

パートナーセッション、事例発表、マネジメントセッション、ユニリタグループセッションとリアル開催ならではの盛りだくさんのプログラムで、それぞれのセッション会場ではテーマに沿ったプレゼンテーションが行われ、多くの方が熱心に聴講されていました。

夕食を兼ねた情報交換会では、ご参加の皆様は久しぶりの対面での交流ということもあり、積極的に名刺交換や情報交換をされ、リアルなコミュニケーションを楽しまれていました。

さらに、翌日の研究発表に向けて、各研究部会の代表から研究メンバーに向け、直接激励の言葉をかけられ、モチベーションを高めていました。



開催 2 日目

シンポジウムのメインイベントとなる研究発表が行われました。今年度は21の研究グループが1年間におよぶ活動の集大成として、対面とオンラインの観客の前で、発表者の方々は緊張の面持ちでプレゼンテーションされていました。

昼の講演会ではサッカー解説者の山本昌邦氏に「一流選手から学ぶ目標達成のプロセス」というテーマで、実際の有名選手の例を挙げながら、一流と呼ばれる選手に共通する特徴から、いかに目標を高く持ち、自身の成長につなげることが大切かについてお話しいただきました。聴講者の多くがITに従事されている方ですが、別業界といえど大変参考になるお話でした。

セッションの合間には、株式会社ロッテ様、カンロ株式会社様からたくさんのチョコレートや飴をご提供いただき、多くの方々が喜んで手にされていました。

夜は表彰式が開催されました。「TOMORROW」のヒットで有名な歌手 岡本真夜さんの出演もあり、盛り上がりを見せました。各賞が発表される中、クライマックスの最優秀活動賞を「IE08：メタバースは日本に浸透するのか」研究グループが、優秀事例発表賞



を株式会社ロッテ様が受賞されました。

受賞された皆様、おめでとうございます。残念ながら受賞に届かなかった研究グループの皆様、2023 年度の研究グループにご参加いただき、ぜひリベンジを目指してください。

今回はコロナ禍ということもあり、感染対策を優先し、例年の 6 割の募集人数としましたが、盛況のうちに終了することができました。

福岡までご来場いただいた方々からは、「やっぱりリアルはいいね」と、改めてシンポジウムの価値や魅力と対面で行う意義についてのたくさんのお声をいただきました。

ご参加いただきました皆様と、多くのお力添えをいただきました協賛パートナー様、事例発表企業様のおかげです。ありがとうございました。

次回の UNIRITA ユーザシンポジウムは第 40 回という節目を迎えます。この記念すべき節目の年に、例年通りの規模に戻し、より多くの皆様にご参加いただけるように準備を進めています。節目の年に合わせた特別な企画も計画中です。ぜひ、ご期待ください。



2023年度 研究メンバーを募集します！

UNIRITA ユーザ会では、最新技術からシステムの管理手法・情報活用とシステム運用にまつわる永遠のテーマなど、さまざまなテーマについて、1 年間にわたって研究できる研究グループを用意しています。多くの会員様において、この研究部会活動を IT 部門の人材育成・人脈形成の場として、ご活用いただいています。

2023 年度の研究部会活動が 5 月から始まりますので、研究部会メンバーの募集を開始しました。今年度も旬な IT トレンドや、若手向けからマネジメント層向けまで、さまざまな研究テーマを用意して、会員の皆様の参加をお待ちしております。

東日本情報活用

- 1 これからのIT
- 2 データ活用によるカスタマーサクセス
- 3 Web3.0をビジネスで活かすには
- 4 HRTechで変わるIT人材調達と育成
- 5 サーバーレスコンピューティングで企業はどう変わるか？
- 6 DX時代のビジネスアナリスト
- 7 属人化を解消する技能伝承とリスクリリング
- 8 データファブリックの必要性
- 9 これからのマーケティング
- 10 量子コンピュータの可能性
- 11 わかりやすいゼロトラストセキュリティ

東日本システム運用

- 1 運用管理事例
- 2 メインフレームマイグレーション
- 3 パブリッククラウドのシステム運用業務
- 4 SDGsテックを用いたIT部門の社会貢献
- 5 クラウドサービスアップデート運用
- 6 障害未然防止のための予兆検知
- 7 システム運用業務のテレワーク実現
- 8 ITIL4活用
- 9 システム運用業務の引継ぎ
- 10 システム運用業務のスペシャリスト像

中部情報活用

- 1 今後求められるIT技術、ITエンジニアの姿を考察

中部システム運用

- 1 貴方が考える「運用業務の将来、必要となるスキル」とは

西日本地区合同

- 1 業務変革とIT活用
- 2 職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術
- 3 ESG推進に向けたIT部門の取り組み
- 4 AIを活用した自動化の実現
- 5 メタバースと社内活用
- 6 DX組織を前提とした技術者のアップデートを考える
- 7 マルチクラウドにおけるITIL4

九州地区 情報活用 システム運用

- 1 メタバース活用で変わる業務

主な活動内容

	春の全体会（活動開始!）
5月	会合（研究活動） 1～2回/月 毎月、研究グループごとに集まり、テーマに沿って研究を進めます。
7月	合宿 1泊2日 研究を深めつつ、研究メンバー同士の親睦を深めます。
8月	
9月	グループリーダ会議
10月	
12月	冬の全体会 各研究グループの研究活動の中間チェックを行います。
1月	
2月	発表練習会
3月	ユーザシンポジウム

研究テーマの詳細はこちら：

<https://www.uniritauser.jp/activities/>

システム管理者の会は、個人会員18,000名以上、賛同企業300社以上の、日本最大規模のシステム管理者のネットワークです。システム管理に携わる方を対象に、生き生きと働ける環境づくりと、幅広い知識や技術力の習得を支援しています。主な活動は、システム管理者の方々のスキルアップや知識習得をサポートする**システム管理者認定講座**や、情報交換や交流の機会を提供する**システム管理者感謝の日イベント**や各種セミナー、システム管理者の方々に感謝の気持ちを伝える活動を表彰する**システム管理者アワード**などを実施しています。

「システム管理者の会」2023年度の活動計画

システム管理者の方必見! 「システム管理者認定講座」のお申し込み受付開始!!

「システム管理者認定講座」は、受講者のスキルに合わせて、システム管理の業務に必要なスキルや知識を身につけることができるため、ITキャリアアップを目指す方には必見です。

本年度の開催日程を公開後、続々とお申し込みいただいております!
申し込みは、下記のWebページURLをご参照ください。

詳しくは、
こちらへ。 <https://www.sysadmingroup.jp/nintei/>

7月12日(水)「第17回システム管理者感謝の日イベント」

当会、最大のイベント「第17回システム管理者感謝の日イベント」が、3年ぶりに大手町日経ホールにて、リアルイベントとして開催を予定しています。参加者同士が会場で直接交流できる貴重な機会となっています。

また、遠方の方やスケジュールの都合がつかない方にも参加いただけるようオンラインでの同時配信も予定しています。

同じ志を持つシステム管理者の方々とネットワークを広げ、知識と情報を共有しましょう!

今回は、2022年7月14日にオンライン形式で開催され、テーマは「社会の変化の中心でシステム管理を叫ぶ! 〜メタバースから学ぶ、私たちのリアル〜」でした。400名以上の方にご視聴いただきました。過去のイベント動画はこちらからご覧いただけます。

※動画のご視聴については、無料の個人会員登録が必要となります。

詳しくは、
こちらへ。 https://www.sysadmingroup.jp/event_seminar/movie/

第3回 IT女子座談会 企画中!

大人気のオンラインイベント「IT女子座談会」の第三弾を5月末から6月上旬にかけて開催予定です。これまでに2回開催し、多くの方からご好評をいただいています。今回はIT業界で活躍する女性たちによる貴重なお話をお届けします。「IT女子座談会」は、IT分野で活躍する女性同士が赤裸々にトークする場です。多くの企業がIT人材不足に悩んでおり、ITスキルを持つ女性の活躍の場が増えています。このような女性に役立つ情報が得られるよう、ITに携わる女性にフォーカスした座談会となっています。

第一弾



<https://cl.unirita.co.jp/mg69-sys1>

第二弾



<https://cl.unirita.co.jp/mg69-sys2>

システム管理者アワード

「システム管理者アワード」は、ITシステムを支えるシステム管理者の方々の努力や業務への貢献を称え、感謝の気持ちを伝えて活躍を表彰する活動です!システム管理者を応援する各社の活動を広く知らせ、表彰することで、業界全体の発展に貢献します。

各社の活動を募集していますので、ぜひ皆様もご応募ください!

詳しくは、
こちらへ。 <https://www.sysadmingroup.jp/award/>



顧客、取引先、パートナー企業とのコミュニケーションにCommuRing (コミュリング) を!

近年、DX推進への取り組みの進展に伴い、ITを活用して業務生産性向上とビジネス市場拡大に取り組む企業が増加しています。その中で顧客、取引先、パートナー企業といった企業間コミュニケーションの在り方をデジタル化し、これまで以上に活性化させることが求められています。

このようなニーズの中、「CommuRing」は「もっと『つながる』、もっと『伝わる』、いつでもどこでもつながって、情報が伝わる働きがいのある環境に」をコンセプトに、企業間におけるコミュニケーション (Communication) の輪 (Ring) をつくるサービスとして「infoScoop Smart×Portal」を機能拡張、リブランディングしたものです。

「CommuRing」は企業間コミュニケーションに必要なオンラインストレージやビジネスチャットを始め、動画配信や情報発信、アンケート取得などの機能をシンプルかつコンパクトにまとめた、企業間利用に最適なサービスです。

「CommuRing」を活用することで、企業間コミュニケーションの活性化を実現し、ビジネスの生産性向上を図ることができます。活用シーンなどの詳細は新たに公開したWebサイトをご覧ください。



<https://commu-ring.unirita.co.jp/>



株式会社 ユニリタ www.unirita.co.jp

本 社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

ユニリタグループ

株式会社ヒューアップテクノロジー / 株式会社ビーティス / 株式会社データ総研 /
備実必(上海)軟件科技有限公司 / 株式会社ビーエスピーソリューションズ / 株式会社ユニートランド /
株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限 / 株式会社ユニリタエスアール